

## 令和6年第4回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 河内 賀寿

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)消滅可能性自治体 どう対処するか	<p>この4月末、民間組織「人口戦略会議」がシンポジウムで、将来的に消滅の可能性があると思なした744市町村の一覧を公表した。今回、田布施町の名前も入っていた。山口県の8市町がその中にあった。</p> <p>消滅とは、人口減少に歯止めがかからず、自治体運営ができなくなる状態を指すとのこと。新聞やテレビのニュースでもトップニュースで取り上げられたため、町民の多くの方の関心事にもなったはず。</p> <p>本町が消滅可能性自治体になったことについて、今後の対応などを問う。</p>	町長
(2)たぶせ桜まつり 今後の課題は	<p>今年のたぶせ桜まつりは沢山のお客様が来て大成功だったと思う。準備や警備など、運営に携わったスタッフの苦労には頭が下がる。</p> <p>さて、現場で尋ねられた事</p> <p>①発表のメインステージはないのか ②ヒーローショーはないのか ③駐車場から遠い</p> <p>限られた予算内では不可能なこともある。安全第一かつ楽しいお祭りが今後とも実施されることを祈りつつ、今後の課題について問う。</p>	町長

質問者2 内山 昌晃

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)柳井地域水道事業統合の進捗状況について	<p>柳井地域の1市2町2企業団の水道事業は令和7年4月の経営統合に向け、現在協議を行っている。先般、示された資料によると本年9月議会において柳井地域広域水道企業団事業計画が報告されるとある。</p> <p>これまで町議会にも説明や報告があったことと重複するものもあると思うが、進捗状況についてお尋ねする。</p> <p>①統合後の水道料金については、現行の料金となるのか。また、下水道使用料も同時に徴収するのか。 ②統合後の送水管等の耐震化の計画は。 ③セグメント会計について</p> <p>他市町と資金は混同しないか。また交付金等の申請や企業債の発行は、企業団全体、各市町で行うのか。企業団全体で行う場合は、交付金等は各市町に公平に振り分けられるか。</p> <p>④企業団の職員について</p> <p>本町からの派遣人数、職務内容、本町の業務は本町の職員が担うのか。 ⑤漏水等の突発的な対応、給水の開始・廃止の届や料金の支払いに関すること等、本庁内に対応する部署を設けるのか。 ⑥田布施・平生水道企業団浄水場の管理は、今後どうするのか。 ⑦水道料金、営業業務、工務関係業務等、当面は現状のままと思われるが将来的に統一していくのか。</p>	町長
(2)子ども子育て支援について	<p>本町は、消滅可能性自治体となった。子どもを産む中心の世代となる20歳～39歳の女性が半数以下に減少することがその定義のようだ。将来の人口減少抑制のためにも、子ども子育て支援を核とする施策の実施が</p>	町長

	<p>必要であると考え。そこで次の2点についてお尋ねする。</p> <p>①医療的ケア児及びその家族の支援について  令和4年6月本会議、令和5年6月本会議において、希望する施設に通うことのできる支援体制や看護師などの人材確保をお願いしてきた。今回で3回目の質問となるが、その後の進捗状況をお尋ねする。</p> <p>②子ども家庭センターの設置について  令和4年度の児童福祉法改正により令和6年4月から市町は子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の組織を一体化した相談機関「子ども家庭センター」の設置が努力義務となった。全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの一体的な相談対応、支援を要する子どもや妊産婦等に対するサポートプランの作成やマネジメント等を行っていくこととなるようだが、本町の取組状況をお尋ねする。</p>	
--	---	--

質問者3 伊村 渉

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)田布施町消防団 これからは</p>	<p>田布施町消防団、団員の定数は187名である。町内を城南、西田布施、東田布施、麻郷、麻里府の5地域に分け、5分団に設置されている。これは、町消防団条例に基づいて配置されている。最近の建物火災は死亡事故が多く、原因の一つに、建物の近代化により土壁が無くなった事、建築法などの改正で地震に強い構造も考えられるのではないかと。団員の使命として、第一に人命を守る事であるが、団員一人一人の能力とチームワーク、又近代化された消防器具を使用してロスのない消防活動を行う為に、改善点の洗い出しをし、新たな消防文化を構築していかなくてはならない。そこで質問する。</p> <p>①現在の団員数は何名か。又定員に満たない場合の対策はあるか。  ②機能別消防団員の団員数と役割は具体的にどの様な仕事か。  ③町内消防分団のある5地域で、年1回の避難訓練を実施出来ないか。  ④町内の建設会社と提携して、機甲班を作り大規模災害に対応、道路の確保、ガレキの撤去など大型重機を使い、迅速、効率的に対応出来ないか。  ⑤危機管理課を組織し、光地区消防組合から消防職員を、一年間出向して頂き、指導を受ける体制は出来ないか。</p>	<p>町長</p>
<p>(2)人口減少への課題と対策</p>	<p>毎回の一般質問で、人口減少関連の質問が出ている重要な問題である。田布施町の人口は、令和6年14,213人、30年前は16,217人で、2,004人減少しているが、直近の5年間では、880人の減少で、加速減少の状況である。現在人口を如何に維持していくか、各課題の目標数値を決め実行を継続する事が必要である。令和5年から入居が開始された城南住宅は、子育てに特化した建物に新築され、入居者からも好評のようだ。城南小学校の生徒数も増加し、順調のようだ。しかし、この状態を維持していくのが大変である。麻里府団地住宅も、小学生家族を対象の入居者で、平成9年に新築され27年経った現在、小学校は廃校になった。そこで質問する。</p> <p>①本町の現在人口を維持していく為にどんなプランを考えているか。  ②「のんびらんど馬島」の行事で、5月に「キッズチャレンジショップ」を開催されたが、出席者数、内容はどの様な結果であったか。又継続イベントとして考えているか。  ③米出の信号から県道164号線を田布施駅方面へ向かって、蓮輪の光泉寺を通り麻郷郵便局の所へ出る町道の拡張は出来ないか。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)個人商業施設の新規出店及び後継者育成補助について	<p>田布施駅前再開発については、従来より様々な角度から議論されており、町の重要課題の一つである。駅前、町の顔であり町のイメージを左右する。現在の駅前には建物は存在するが、空き家状態の店舗が複数存在し、将来的には取り壊されることが想定され、そうなる町はさびれた感が否めなくなる。そうなる前に、商業施設を如何にして復活させるかがカギとなる。復活させるためには、商店の新設か、現在ある店舗の後継者確保が必要となる。そこで提案だが、都市計画用途地域の商業地域内に、個人商業施設を新設する時及び後継者確保を図る時の補助はできないか。具体的には、企業進出時の固定資産税減免や、新規就農者への資金援助等にならない、単独補助の新設ができないかお尋ねする。</p>	町長
(2)消滅可能性自治体脱却のため町政アドバイザーの招聘を	<p>4月に人口戦略会議から消滅可能性自治体が発表され、残念ながら当町が県内では8番目の指摘を受けた。消滅可能性自治体とは、2020年から2050年の30年間で20才から39才までの若年女性人口が50%以上減少すると予想される自治体のことで、全国で744自治体が指摘され全体の約4割を占める。山口県では、今回田布施町だけが指摘され、危機意識を持ってこれまで以上の取り組みが必要と考える。その方策として次の4点を提言したいが、如何お考えか。①消滅可能性自治体脱却対策本部の設置。②20才から39才の女性を対象としたアンケートの実施。③20才から39才の女性を委員とする「女性と子供にやさしい自治体への提言」策定委員会の設置。④町政アドバイザーの招聘。特に、アドバイザーの招聘を提言する理由は、町の抱える課題を客観的にとらえることができ、対策についても専門的な知見を有する人をアドバイザーに委嘱することで、人口増加を図るための的確で有効な政策の提言を受け、予算に反映できると考えるが如何か。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)住みよいまち田布施一層の取組を	<p>いのち育み未来へつなぐ“笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施”を将来像に据えた第6次総合計画。その真っただ中、消滅可能性自治体への登録との報道が衝撃をもって伝えられた。田布施町は、人口もそんなに急には減っていない、出来ることからコツコツと頑張っている進められていると認識している。なのになぜ?である。ただ、総合計画を着実に実行していけば、全く気にしなくてよいと感じる。基本目標1に掲げられている、「若い世代の出会いや結婚の支援」「子育て支援の充実」「出産・子育てに係る経済的負担の軽減」「乳幼児・子どもの医療費助成やひとり親家庭への支援」「家庭との連携による主体的・意欲的な学習態度の育成」「学校と地域が連携・協働した体制づくりを構築」「諸団体の活動支援や関係機関と連携した家庭教育の向上を図る」などあげられている。そこで、総合計画の「基本目標1」について現在の状況を伺う。</p> <p>①重点項目の「出会いや結婚」について本年度の支援の状況は。                  ②新年度に入って登校できていない児童、生徒はどれぐらいいるか。                  ③登校できていない理由を個別に把握されているか。</p>	町長 教育長

<p>(2) PR広報活動 積極的推進を</p>	<p>現代の広報は、町政を町民に知らせることと共に、町の今そして魅力を広く伝達する役目があると感じる。例えば広報たぶせ、最近の表紙は町民にスポットを当てられ好感が持てる。他には、町HP、担当課のチラシ配布、今年度開始の公式ラインアカウントなど、バリエーションが増えてきた。しかし、今の田布施町をしっかりと伝えられているのかというと、疑問である。今までも多くの議員さんから広報が足りないとの指摘が、一般質問でも取り上げられている。町の魅力を発信することは、多くの方に田布施のファンになってもらうことである。田布施町は近隣に先駆け、高校生までの医療費無償化やおむつ定期便など実施。ただし、このことは、まだまだ町民や周辺の方でも知らない方が多くおられる。そこで、田布施町のPR広報活動への取組について問う。</p> <p>①町のPR広報の現在の手段など取組状況は。  ②公式ラインアカウントの現在の登録者数と年齢構成は。  ③公式ラインアカウントの今後の展望について。</p>	<p>町長</p>
--------------------------	---	-----------

質問者6 松田 規久夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1) 新生児50人となり議論が必要</p>	<p>数字で判断すれば小学校は近い将来(10年程度か)、田布施町に1校で良い。学校と公民館は地域活性化の核であるから、財政の余力、地域住民の要望があれば可能な限り存続が望ましい。しかし、少子高齢化進行で、今、急激に人口が減少している。将来のバラ色の財政は展望できない現状から、議論の先送りはできないと言える。議員の任期は来年2月で、将来方針の決定は次期新メンバーの大きなテーマになるだろうが、話し合いができる体制を作っておく必要がある。幼稚園、保育園も議論の対象になるだろう。地域の声を聞く場、行政のプロジェクトチームなど、議会を含め対話ができる将来展望の場づくりが当面の課題と思うので尋ねる。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>(2) 選挙ポスター掲示板の削減</p>	<p>田布施駅で電車から降りてきた農工の女生徒に、松田きくお後援会報を手渡そうとして「おじちゃん、字ばかりじゃけえ要らん」「若い者は字は見んよ」「見んと捨てるようになるけえ要らん」と言って受け取ってもらえなかった。読んで欲しくてガッカリしたが、若者の本音が聞けて良かった面もある。若いスマホ世代には、こんな人が多いのだろう。活字離れと言われ久しい。義務教育も情報端末使用となり、ペーパーレス時代の到来と言える。</p> <p>そこで本題に入るが、スマホ世代は掲示板の選挙ポスターは見なくても、ウェブサイトに掲載されている選挙ポスターなら見る機会があるのではなかろうか。町内の選挙掲示箇所は車社会到来前を引き継いで数多くある。ポスターを選挙公報として扱い、ウェブ掲載すれば、大幅に掲示箇所が削減できる。選挙費用、無駄な労力の削減、また、選挙公報のウェブサイト導入実現が可能と思えるので尋ねる。</p>	<p>選挙管理委員</p>
<p>(3) 終活支援事業担当</p>	<p>死後どうするか。誰もが負の遺産のバトンを次世代に手渡したくない。終活という言葉もある。田布施町では、この終活を支援する担当は明確にされているか。終活は住民の関心が高い、解決の難しいテーマだ。</p> <p>無縁遺骨と聞けば、名前や本籍地が分からない「行き倒れ」を想像されるだろう。実際には身元が判明しても、遺骨の引き取りがないケースが多い。3親等以内の親族が亡くなっていると拒否されることが多いそうだ。</p>	<p>町長</p>

	<p>町の発生状況はどうか。田布施町の意味確認は、引き取り人にどのように対応されているか。マニュアルで統一的な基準は示されているか。コロナ禍の影響もあり、家族葬が普通となった。今や、親子葬になりつつあると聞く。引き取り人が見つからず、町が遺骨を預かる場合はどうするのか。過去には真光寺さんに預かってもらった例もある。麻里府の町営墓地も候補と思うので尋ねる。</p>	
--	--	--

質問者 7 國本 悦郎

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1) 安全・安心な住みよい麻里府地区に</p>	<p>自然災害が、全国各地で激甚化しているが、これまでは、地震や台風、豪雨等といった自然災害については、田布施町ではこれといった大きな災害にはなっていない。地震では、先の伊予灘での地震が、それに続く南海トラフ地震の前触れとすれば、安閑としていられない。台風も最大級の規模を予想し、満潮時に高潮と重なるなら、国道下の尾津東・中・西地区はほぼ全戸浸水すると、県が提供するハザードマップでは示されている。これまでも何回となく指摘してきたが、麻里府地区には安全・安心面では解決すべき諸課題があるので、それらについて質したい。</p> <p>①すでに建設完了予定の防潮堤が、未完成の要因と今後の見通しは。          ②尾津東・中地区から国道に抜ける2車線の避難道の早期の建設を。          ③新公民館建設に至る手法に問題点は、避難所としての安全性は。          ④新しいハザードマップの作成や新麻里府公民館ができる前に地震・津波対応の防災訓練の意義は。          ⑤上組地区にある残土埋立地は、豪雨時にも安全な操業ができるか。          ⑥豪雨時、何回も越水した桜川に架かる片懸橋の橋脚の除去と新橋を。</p>	<p>町長</p>
<p>(2) 関係人口創出による麻里府地区の活性化を</p>	<p>麻里府地区は、町内5地区の中では少子高齢化が一段と進み、自助・共助だけでは立ち行かなくなってきている。麻里府地区がモデル地区となるよう、この度、新公民館建設に併せて、麻里府地域夢プラン検討会が創設され、今年度、夢プランを具現化するために集落支援員が就任した。費用対効果がどうか等、町内外から注視されている。</p> <p>活性化のモデルとなるよう多岐に質問したい。</p> <p>①麻里府体育館や麻里府グラウンドの活用策と埋蔵文化財の保管庫になっている旧校舎や使用しないプールの撤去計画は。          ②後継ぎの居ない程度のいい見田団地の家屋の空き家バンク登録による移住促進を図るとともに麻里府団地の満室化の対策を。          ③町内では、一早く導入された麻里府地域夢プラン検討会で策定した夢プランの具現化のために、画餅化しないよう集落支援員等の活用を。          ④高齢者支援や環境整備という自助・共助の面で、町内では先進的に活動している支えあいまりふと職員が協働し、全町への普及を。          ⑤新公民館を平生町や光市のようなコミュニティーセンターに。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>(3) 次回の町議選には、選挙公報の発行を</p>	<p>町村レベルの首長選と議会議員選では、5割以上の自治体で選挙公報を発行するための条例化が進み、選挙公報が発行されている。しかし本町では、少しでも高投票率となるよう、何回となく陳情や一般質問で選挙公報を発行する条例を制定し、選挙公報の発行を促しているのに、今もって実現はしていない。その理由として、公職選挙法では二日前までに配布をとっているから物理的に困難だということがいつも挙げられている。他の</p>	<p>選挙管理委員長</p>

	<p>自治体のように、前日までに配布をというように条例化すれば、自治会配布だけでなく、条例で指定すれば、新聞折込は勿論、HPや公民館、コンビニ等いろんな手段を使えば、有権者に選挙公報を届けることができる。本町では、他地区から入った住民や若年層が棄権することなく、13名以上の候補者の中から1名の候補者を選ぼうと思えば、議会の同時配信がない現在では、選挙公報の発行が最適と思われる。町議選が高投票率となるよう、選挙公報の発行を是非お願いしたい。また、選挙公報発行以外に若年層や移住者の棄権者が少なくなり、投票率が高くなるような妙案があれば、提案していただきたい。</p>	
--	--	--

質問者8 西本 篤史

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)消滅可能性自治体からの脱却について	<p>2014年日本創生会議が発表した「消滅可能性都市」は896自治体で、近隣では上関町、平生町、周防大島町が入っていた。2024年の発表では、田布施町が新たに消滅可能性自治体に入った。全国では人口戦略会議が行われ、1,729自治体中744自治体が消滅可能性自治体となったが、239自治体が消滅可能性自治体から脱却した。</p> <p>福岡県の香春町では「人口減少と高齢化にどうやって歯止めをかけるか」という取り組みを町全体で頑張った。」教育環境、子育て支援なども行った。町も脱却にむけて本気で取り組んではどうか。若者向け住宅の充実、企業誘致、Uターン奨学金、安心・安全のまちづくりなど戦略をお尋ねする。</p>	町長
(2)放置空き家対策について	<p>全国で「放置空き家」が問題になっている。全国で385万戸、山口県は14万戸で全国7位である。田布施町は何戸か。</p> <p>各地で官民が「放置空き家対策」をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を生きて世代に提供する「循環型モデル」</li> <li>・子ども食堂や福祉施設などに空き家を貸し出す</li> <li>・贈与型賃貸住宅として子育て世帯に貸し出す</li> </ul> <p>など対策をしてはどうか。</p> <p>また、「改正空家対策特別措置法」の「管理不全空き家」に認定された場合、固定資産税の優遇措置はどうかお尋ねする。</p>	町長

質問者9 瀬石 公夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)日本一農業をしやすいまちに	<p>日本の農業は「高齢化・担い手不足」「耕作放棄地の増加」「TPPによる価格競争」など課題が山積している。企業等の農業経営参入により経営のノウハウを生かし、持続的で「日本一農業をしやすいまち」を目指しては。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①高齢化等で離農する農家がある一方で、新規就農者が増えない対策は。</li> <li>②耕作放棄地等により、地域の治水や環境システムの維持といった多面的役割を農地は持っているが、深刻な問題となっている対策は。</li> <li>③農家にも効率化やコストダウン、独自の販路の確立、また安価な農産物に負けないだけの付加価値を見い出す必要があるが対応策は。</li> </ol>	町長

	<p>④経営のノウハウを有する企業等の農業参入を促進し、地域農業者や農業法人との連携により持続可能な農業経営の「田布施モデル」の確立を。</p> <p>⑤水路、農道、町道等の公（おおやけ）の土地管理が耕作者に集中するため、耕作者に多大な負担が掛かる。管理を町、地域で支え合う「日本一農業をしやすいまち」のシステムを創っては。</p> <p>⑥本町での営農型太陽光発電設置の1～3種農地別の一時転用条件は。</p>	
(2)自治体の非正規職員について	<p>自治体や一部事務組合で働く非正規職員が増えている。2023年4月時点で約74万2千人と、2020年に比べ約4万8千人の増である。さらに、非正規への置き換えや民間への業務委託も進んでいる。</p> <p>非正規職員の多くは任期一年以内の会計年度任用職員として採用されている。雇用が不安定で生活の見通しが立たず不安だと聞く。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <p>①本町の会計年度任用職員の公募基準はどのようになっているか。</p> <p>②会計年度任用職員は賃金面でも低水準が目立つが、職員との差はどの位か。</p> <p>③民間が人材確保を競い合う中、公務職場の低い処遇は公共サービスの低下に繋がるのでは。</p> <p>④専門性や経験を正当に評価して、正規職員に採用する仕組みを広げる必要があるのではないか。それが、住民の利益に繋がるはずだが見識は。</p> <p>⑤民間の非正規雇用の5年ルールをどの様に認識されているか。</p>	町長

質問者10 落合 祥二

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)職員採用及び町長が求める職員像並びに職員のスキルアップについて	<p>令和6年度職員採用試験（令和7年4月採用）が予定されているが、職員の採用状況及び職員のスキルアップについて尋ねる。</p> <p>①令和5年度中で退職した職員は、何人か。</p> <p>②採用予定人数は何人か。採用職種は行政職と保育士のみか。</p> <p>③地方公務員のなり手不足の時代、やる気のある優秀な人材を獲得できると思うか。優秀な人材を獲得するための対策はあるか。</p> <p>④町長が求める職員像は何か。その職員像を町民が知ることによりメリットがあると思わないか。その職員像をホームページにアップする考えはないか。民間会社のように職員採用情報のページを作る考えはないか。</p> <p>⑤現在の正職員は何人か。本町出身者は何人で、町外出身者は何人か。年代別の割合は、どうなっているか。</p> <p>⑥職員のスキルアップをどう考え、どう実行しているか。</p>	町長
(2)買い物弱者対策について	<p>町内には、移動手段がないなどの理由で、食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる買い物弱者が増えている。</p> <p>この件については、昨年の9月定例会でも一般質問したが、再度尋ねる。</p> <p>①現状をどのように把握しているか。昨年と比べ変化はあったか。</p> <p>②移動販売事業は効果があるか。販売区域は広がっているか。</p> <p>③身体的理由で、移動販売の場所に行けないという方もおられると思う。民間の宅配事業を利用することも一つの方法と思うが、どうか。支援策はあるか。</p> <p>④買い物弱者対策の一翼を担う地方公共交通も重要だ。今年度中には、スタートすると聞いているが、進捗状況や内容は、どうなっているのか。</p>	町長

	⑤昨年も、国のマニュアルを参考に、買い物弱者の視点でトータル的に買い物弱者対策を構築すべきだと提言したが、検討したか。	
--	---	--